

まんが喫茶 人気再燃



しゃれた雰囲気「まんが喫茶」で足を伸ばしてくつろぐ女性＝東京都新宿区

ネット使い放題、シャワー設置

サービス合戦激化

漫画本を図書館並みにそろえた「まんが喫茶(まん喫)」が、インターネット使い放題、シャワー設置などサービスをアップして、人気を取り戻している。漫画で育った二十代から四十代の男女を中心に、ひとときの癒やし現場になっているようだ。

「コミックバスター・エムドライブ西中島店」はJR新大阪駅近くに昨年一月、オープンした。漫画本は新旧合わせて約二万冊。木製の壁で間仕切りされた二十七の席にはインターネット用パソコンが置かれ、ふかふかのリクライニングシートが備えられている。

男性店員はスーツにネクタイを着用して高級感を演出。間接照明でやや暗めの店内には、ジャズが静かに流れている。漫画を読むだけでなく、無料で使えるパソコンでゲームに没れる若者も多い。料金は最初の一時間が四百二十円で、コーヒーやジュースなどは

お代わり自由。一日に会社員ら約百三十人が来店するという。

「上質な安らぎの空間を提供したい」と佐藤誠

店長。「昼休みに弁当を持ち込んでひと息入れる方や、仕事帰りに立ち寄り

「二、三時間のんびり過ごされる方が多い」近所で一人暮らしの男

性(こ)は「自分の部屋より居心地がいい」。同じ

年の女性「誰にも邪魔されず、自分のペースで

漫画を読むと心からくつろげます」と話す。

学生の町である東京・高田馬場の「ルシエルシエ高田馬場店」は、一日二百人以上の利用者のほぼ半数が女性だ。約二万

五千冊の漫画本の約三割が少女コミックで、女性

ファッション誌も数十種類が本棚に並ぶ。

畳一畳ほどの和風個室、二人掛けのソファを備えたカッパル向き、明るいカフェ風のコーナー

と多彩に用意され、シャワー室まである。終電車を逃して夜明かす客

もいるとか。

業界団体「日本複合力フェ協会」(東京)によると、まん喫は一九八〇年ごろ名古屋で誕生。バブル経済とともに全国に広まったが、「まんが喫茶イコールおたくの集まる場所」とのイメージが強まり一時衰退した。